

水と緑と人の和で うるおいのあるまち



野

木町のキャッチフレーズ「水と緑と人の和でうるおいのあるまち」。

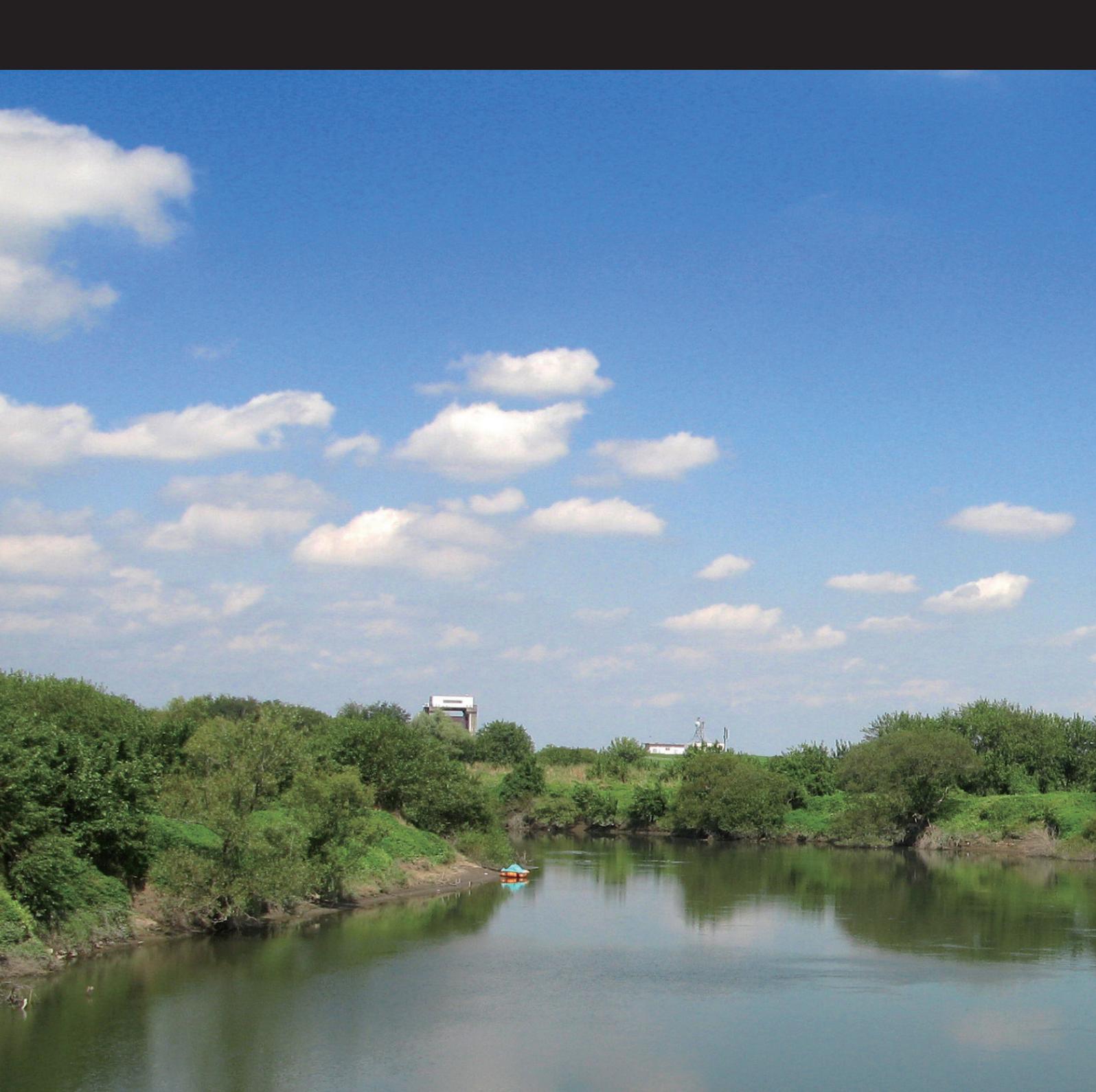
「水」は思川や田んぼ、遊水地などの豊かな水を、「緑」は平地林や田畑、街路、公園等の緑地を連想させます。



▲野木神社に群生する二輪草

豊かな自然環境

駅を中心とした市街地から一歩踏み出すと、町内にはまだまだ多くの自然が残り、渡良瀬遊水地にはチュウウヒやハヤブサなどの鳥類、オオモノサシトンボなどの昆虫、メダカやカワヤツメなどの魚類が生息し、様々な植物が生い茂っています。



一方、市街地に目を向けると、野木神社の杜には春にフクロウが営巣し、2羽のひな鳥が巣立っていきました。



▲野木神社に営巣するフクロウ

また、今年も町内の田んぼにコウノトリが飛来し、餌をついばむ様子が見られました。



▲町内に飛来するコウノトリ

水を蓄え、命を育み、人々に安らぎを与えてくれるこれらの自然を、次の世代にバトンタッチしていけるよう守り続けていきたいものです。